

SHARP®

エルシーメイト

取扱説明書 学校用電卓

形名 **EL-G35**



	ページ
●安全にお使いいただくために	1
●はじめに	2
●お使いになる前に	3
●電源について	5
●各部のなまえとはたらき	8
●カウンターとシンボル表示の見かた	17
●日数計算のしかた	22
●税計算のしかた	26
●時間計算のしかた	28
●基本計算のしかた	31
●応用計算	35
●エラーについて	40
●仕様	43
●補修用性能部品の保有期間	44
●アフターサービス/保証内容について	44

税率変更が可能な税計算機能付き

設定税率が変更できます。
ご使用前や電池交換時には、税率を確認した
うえでご使用ください。

安全にお使いいただくために

- 図記号について** この取扱説明書には、安全にお使いいただくためにいろいろな表示をしています。
- その表示を無視して誤った取り扱いをすると、けがをしたり財産に損害を受ける場合があります。
- 内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

- 図記号の意味**  記号は、気をつける必要があることを表しています。
-  記号は、しなければならないことを表しています。

注 意

- 電池は誤った使いかたをすると、破れつや発火の原因となることがあります。また、液もれして機器を腐食させたり、手や衣服などを汚す原因となることもあります。以下のことをお守りください。
 - ・電池のプラス“+”の向きを正しく入れる。
 - ・使えなくなった電池を機器の中に放置しない。
 - ・水や火の中に入れてたり、分解しない。
- この製品に使用している電池を取り外した場合は、小さなお子様が電池を誤って飲むことがないようにしてください。電池は幼児の手の届かない所に置いてください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。



はじめに


ご購入いただき、まことにありがとうございました。
ました。

本機は簿記や商業計算の勉強をする人のために開発した電卓です。税理士・公認会計士の資格を取得する人にも有効に使用していただけます。また、電卓を活用する各種の検定試験にも適しています。

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ご使用前に、「安全にお使いいただくために」を必ずお読みください。

この取扱説明書は、いつでも見ることができる場所に必ず保存してください。

ご注意

- この製品を取り出したとき、十分に明るいところであるにもかかわらず、表示が消えている場合、を押してください。
- お客様または第三者がこの製品および付属品の使用誤り、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は、一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- この製品は付属品を含め、改良のため予告なく変更することがあります。

廃棄時の注意事項

- この製品を廃棄する場合は、「電池交換のしかた」にしたがって電池を取り外し、電池と本体に分別してください。
- 製品の廃棄および電池が消耗して取り外した電池は、冒頭の「安全にお使いいただくために」もよく読んでお取り扱いください。
- 製品の廃棄および電池が消耗して取り外した電池は、ショートするのを防ぐためプラス“+”とマイナス“-”をセロハンテープなどで絶縁してください。
- 分別した電池と本体を廃棄する場合は、自治体によって処理、処分が異なりますので、その指示にしたがってください。

お使いになる前に

おねがい

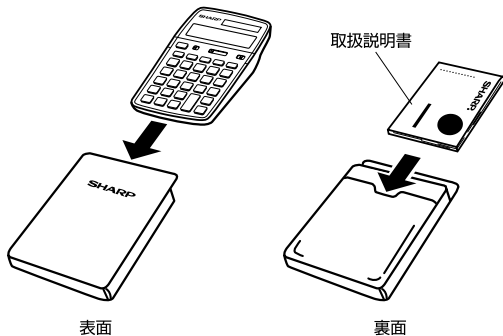
- 日の当たる自動車内・直射日光の当たる場所・暖房器具の近くなどに置かないでください。
高温により、変形や故障の原因になります。
- 液晶表示部や太陽電池部はガラスでできていますので、強く押さないでください。
割れることがあります。
- 落としたり、ぶつけたり、強いショックを与えないでください。
大きな力が加わり、壊れることがあります。
- お手入れに揮発性の液体(シンナー、ペンジンなど)や、ぬれた布などは使用しないで、乾いたやわらかい布をご使用ください。
変質したり色が変わったりすることがあります。
- この製品は防水構造になっていませんので、水など液体がかかる場所での使用や保存は避けてください。
雨、水しぶき、ジュース、コーヒー、蒸気、汗なども故障の原因となります。

付属のネームラベルにお名前をご記入のうえ、電卓の裏面に貼ってご使用ください。

ソフトケースの使いかた

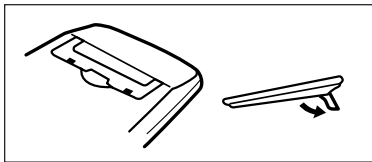
電卓を使用しないとき、
また、カバンに入れて持ち運ぶときなどには専用のソフトケースに入れてください。

(ソフトケースの
“SHARP”と書かれている
側を上にして、電卓を入れてください。)



デスクスタンドの使いかた

電卓を使うとき、スタンドを立てれば、操作が楽になります。




電源について

この電卓は“リチウム電池”と光を電気に変える“太陽電池”の2つの電源方式(ツインパワー)を採用しています。

この2つの電源方式により、通常は太陽電池で動作し、使用中に光がさえぎられても、リチウム電池により計算内容などを保護します。

■ 自動節電機能(オートパワーオフ機能)

この電卓は、約7分間キー操作をしないと、電池保護のため自動的に電源が切れ表示が消えます。使用状態により、数分の長短があります。

新たに計算をするときは、を押してください。設定していた税率やメモリー(GTメモリー含む)の内容は保持されています。



■ 電池の使用上のご注意

冒頭の「安全にお使いいただくために」もよく読んでお取り扱いください。

- 消耗した電池をそのままにしておきますと、液もれにより電卓を傷めることがあります。
- 最初の電池は工場出荷時に組み込まれていますので、所定の連続使用時間に満たないうちに、寿命が切れることがあります。

■ 電池交換の時期

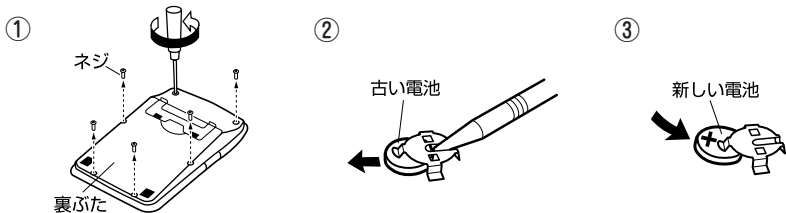
暗い場所で使用しているとき、次のような現象が現れたら新しい電池と交換してください。

- 正面から見た表示が薄くて見にくい。
- 自動節電機能(オートパワーオフ機能)が働いて表示が消えているとき、 または  を押しても何も表示しない。

■ 電池交換のしかた

使用する電池はリチウム電池(CR2025) 1個です。

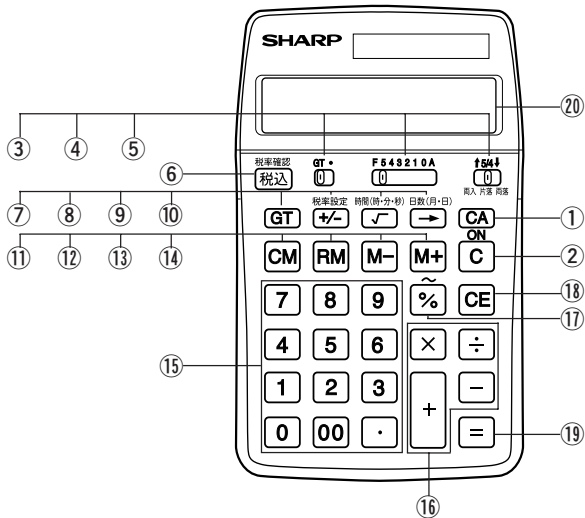
ご注意：電池交換をすると、設定していた税率やメモリー(GTメモリー含む)の内容が変化・消失する場合があります。



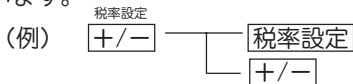
電池を交換したら

- **C** **ON** **CA** と押し、液晶表示部に“0.”が表示されることを確認してください。もし、“0.”が表示されない場合は、もう一度電池を取り外して入れ直し、再度表示を確認してください。(光が太陽電池部に当たらないようにさえぎった状態で確認してください。)
- 裏ふたを取り付けます。
- **C** **税率確認** と押して税率を確認してください。もし、税率が変化・消失している場合は、再度設定し直してください。(26ページ参照)

各部のなまえとはたらき



この取扱説明書は次のように同じキーでもその働きにより使い分けて記載しています。



① CA クリアオールキー

- メモリー(GTメモリー含む)を含めて、電卓内をすべてクリア(ご破算)します。

(税率はクリアされません。)

- 意味のない数字や記号が表示されているとき、**C^{ON}**を押しても解除できない場合に押します。

② **C^{ON}** 電源オン(入)／クリアキー



- 電源を入れるときに押します。

- 電卓内部の数値や計算命令をクリアするときにも押します。


(設定した税率やメモリー(GTメモリー含む)の内容はクリアされません。)

③ 






GTスイッチ (グラントータルスイッチ)

GT位置：小計(あるいは)を押して得られる値)の累計を求めるとき、この位置にします。小計は、GT(累計)メモリーに自動的に加算されます。

- **位置**：一般の計算を行うときは“.”位置にしてください。

④ 


TABスイッチ (小数部桁数指定スイッチ)


, , , , を押して得られる計算結果の小数部の桁数およびアディングモードを指定します。

F位置：小数部の桁数が固定されません。“浮動”になります。

5、4、3、2、1、0位置：小数部の桁数をそれぞれの桁数に指定します。



A位置：アディングモードを指定(小数部の桁数を2桁に指定)します。アディングモードでは、計算結果の小数点の位置が自動的に置数値の下位から2桁目に指定されます。


ただし、置数に  を使用した場合や加減算以外の計算では、この機能は働きません。

- ⑤  **ラウンド(5/4)スイッチ／両入・片落・両落スイッチ**
ラウンドスイッチ：TABスイッチにより指定された小数部桁数より小さい桁(端数)の処理方法を指定します。
↑位置：切り上げ 5/4位置：四捨五入 ↓位置：切り捨て
●TABスイッチがF位置にあるときや、計算の途中結果など、小数部の桁数が固定されない場合の端数は、上記指定にかかわらず切り捨てられます。
両入・片落・両落スイッチ：日数計算において、“両入”、“片落”、“両落”の指定になります。(22ページ参照)
- ⑥ **税込** **税込計算キー**：税込計算を行うときに押します。
税率確認 **税率確認キー**：税率を確認するときに **C** **税率確認** と押します。
- ⑦ **GT** **GTキー**：グラントータルメモリーの内容を呼び出します。
2回続けて押せばグラントータルメモリーの内容をクリアします。
- ⑧ **+/-** **サインチェンジキー**：表示数値の符号を反転させるときに押します。
税率設定 **税率設定キー**：税率を設定するときに **C** **税率設定** と押します。



- ⑨  ルートキー：開平計算を行うときに押します。

時間(時・分・秒) 時間計算キー

 **時間(時・分・秒)** で、時間計算モードになります。 を押すと時間計算モードが解除されます。また、時間を入力するときおよび、10進数と時間(60進数)の変換を行うときに使用します。

- ⑩  右シフトキー：表示数値が1桁ずつ右に移動します。置数値を1桁訂正するとき使用します。また、置数時のエラーや概算エラーを解除するときにも使用します。(34ページ参照)

日数(月・日) 日数計算キー

 **日数(月・日)** で、日数計算モードになります。 を押すと日数計算モードが解除されます。また、日付(月・日)または日数を入力するとき使用します。

- ⑪ **CM** クリアメモリーキー：メモリーの内容をクリアします。

⑫ **RM** リコールメモリーキー：メモリーの内容を呼び出します。
このとき、メモリー内の数値は変わりません。

⑬ **M-** メモリーマイナスキー：メモリーより減算します。

⑭ **M+** メモリープラスキー：メモリーに加算します。

⑮ **·** **00** **0** ~ **9** 置数キー

数値を入力するときに押します。


キーを押しながら別のキーを押しても有効です。(2キーロールオーバー機能)

例：**1**を押したまま**2**を押すと**1**を離れたときに“2”が入力されます。

⑯ **+** **-** **×** **÷** 四則計算キー

四則計算(加減乗除算)を行うときにそれぞれ押します。

これらのキーを押しまちがえた場合は、それぞれ押しかえることにより訂正できます。(34ページ参照)

①⑦  パーセントキー

 期間計算キー


日数計算である期間の日数を求めるときに使用します。

①⑧  クリアエントリーキー

置数直後やメモリーの内容を呼び出したときなどに押せば表示数値がクリアされます。置数値全体を訂正するときに使用します。

また、置数時のエラーや概算エラーを解除するときにも使用します。

(34ページ参照)

①⑨  イコールキー

②⑩ 液晶表示部



液晶表示部には置数値、計算結果、記号(シンボル)などが表示されます。
(シンボルは、説明のためすべて記載していますが、すべてのシンボルが同時に表示されることはありません。)

88 置数の回数や [=] を連続して押した回数などが表示されます。(カウンター：00～99)

[=回数] [=] を連続して押したとき、メモリーの内容(GTメモリーを含む)を呼び出したときに表示されます。

税込 税込額を求めたときに表示されます。

税額 税額を求めたときに表示されます。

税率 税率を呼び出すとき、または税率を設定するときに“%”とともに表示されます。

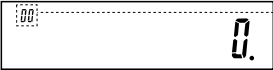
- 月日 日数計算モードで月日を入力したときや期日を求めたときに表示されます。日数を求めたときは“日”のみの表示となります。
- 時間 時間計算モードのとき表示されます。
- 日数 日数計算モードのとき表示されます。
- % 税率を呼び出すとき、または税率を設定するときに“税率”とともに表示されます。
- 四則計算キーを押したとき表示されます。表示中にそれ以外のキーを押すと“●”は消えます。
 - 数値が負のとき、表示数値の左側に表示されます。
 - = $\boxed{=}$ 、 $\boxed{\%}$ を押して答えを求めたとき、 $\boxed{M+}$ 、 $\boxed{M-}$ を押してメモリーの加減算を行ったとき表示されます。
 - E エラーになったとき表示されます。
 - M メモリーに0以外の数値が記憶されているとき表示されます。このシンボルは \boxed{CM} を押すか、 \boxed{CA} を押すと消えます。
 - G GTメモリーに0以外の数値が記憶されているとき表示されます。このシンボルは \boxed{GT} を2回押すか、 \boxed{CA} を押すと消えます。
- +、-、×、÷ $\boxed{+}$ 、 $\boxed{-}$ 、 $\boxed{\times}$ 、 $\boxed{\div}$ を押したとき表示されます。

カウンターとシンボル表示の見かた


- この電卓には次のカウント表示機能があります。(画面左上)
 - ①入力した数値の個数を表示する
 - ② [=] を連続して押した回数を表示する
 - ③メモリーに累計、加算、メモリーより減算した回数を表示する連続計算を行う場合、何番目の数値を入力しているか確認できます。四則計算、日数計算および時間計算を行うときのみ有効です。
- 四則計算キーのどれを押したかをシンボルで表示します。計算を途中で中断した場合に便利です。

【例】 $23 \times (-2) \div 4 = -11.5$

スイッチ位置：GT…“•”、TAB…“F”、ラウンド…“5/4”


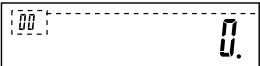



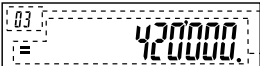




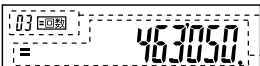

操 作	表 示
[C]	 カウンター 電卓内をクリアする。

操 作	表 示
2 3	 <p>数値を入力するとカウンターが上がる。</p>
☒	 <p>中間値 ☒ を押したことを示す。</p>
2 [+/-]	 <p>負数が入力されカウンターが1つだけ上がる。</p>
☉	 <p>中間値 (23×(-2)) ☉ を押したことを示す。</p>
4 [=]	 <p>数値の入力を3回行った。 計算結果</p>

- 複利終価など求める場合に、を連続して押した回数をカウンターで表示します。

【例】 元金400,000円、年利率5%、1年1期の複利で3年間貸したとき1年ごとの複利終価はいくらになるかを求めます。



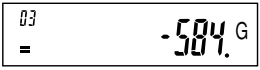
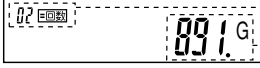
スイッチ位置：GT…“●”、TAB…“F”

操 作	表 示
	 --- カウンター 電卓内をクリアする。
1  0.05  400000 	 --- 数値の入力を3回行った。 1年後の複利終価
	 ---  を連続して押した回数を表示。 2年後の複利終価
	 ---  が押されカウンターが1つあがる。 3年後の複利終価

- GTメモリー計算においてGTメモリーに累計した回数をカウンターで表示します。

【例】 $478 + 896 + 101 = 1475$
 $\frac{+ 357 - 741 - 200 = -584}{891}$

スイッチ位置：GT…“GT”、TAB…“F”

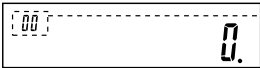



操 作	表 示
\boxed{C} \boxed{GT} \boxed{GT}	 カウンター 電卓内、GTメモリーをクリアする。
478 $\boxed{+}$ 896 $\boxed{+}$ 101 $\boxed{=}$	 数値の入力を3回行った。
357 $\boxed{-}$ 741 $\boxed{-}$ 200 $\boxed{=}$	
\boxed{GT}	 2個の数値をGTメモリーに累計した。 GTメモリーの内容

- \boxed{CA} または \boxed{GT} \boxed{GT} と押すと、GTメモリーの内容およびGTメモリーに対するカウンターはクリアされます。

- メモリー計算において、メモリーに加算、メモリーより減算した回数をカウンターで表示します。

【例】 $25 \times 5 = 125$
 $\frac{-)84 \div 3 = 28}{97}$

スイッチ位置：GT…“●”、TAB…“F”

操 作	表 示
\boxed{C} \boxed{CM}	 カウンター 電卓内、メモリーをクリアする。
25 $\boxed{\times}$ 5 $\boxed{M+}$	 数値の入力を2回行った。 メモリーに数値を加算した。
84 $\boxed{\div}$ 3 $\boxed{M-}$	 メモリーより数値を減算した。
\boxed{RM}	 $\boxed{M+}$ 、 $\boxed{M-}$ を押した回数 メモリーの内容

- \boxed{CA} または \boxed{CM} を押すと、メモリーの内容およびメモリーに対するカウンターはクリアされます。

日数計算のしかた

■ 日数計算できる範囲

ある日から、別のある日まで何日あるかを調べたり、ある日から何日後(または何日前)の日付を調べることができます。

- 1年以内(両入：366日、片落：365日、両落：364日)
- 同日から同日を指定すると、翌年までの日数を計算します。
例：4月1日～4月1日(片落)→365日
- 0日前(後)の計算はできません。また、両入では1日前(後)の計算もできません。
- 入力あるいは計算で求めた月日のメモリー計算はできません。
- 最初の入力月日を、定数として計算することができます。

◆両入、片落、両落の意味

両入：始まりの日も終わりの日も日数として数える。(両端入れ)

片落：始まりの日か、終わりの日のどちらかを日数として数えない。(片落し)

両落：始まりの日も終わりの日も日数として数えない。(両端落し)

■ 期間計算・期日計算のしかた

◆ ある期間の日数を調べるには (期間計算)

【例】 10月21日から12月24日までの
日数は？
(片落し：10月21日は入れない
で計算)
両入・片落・両落スイッチ…“片落”

操 作	表 示
① [C] [日数(月・日)]	00 日数 0.
② 10 [日数(月・日)] 21 [~]	01 月 日 日数 • 10 21
③ 12 [日数(月・日)] 24	02 月 日 日数 12 24
④ [=]	02 日 日数 = 64

◆ 何日後(前)の日付を調べるには (期日計算)

【例】 3月27日から50日後の日付は？
(両端入れ：3月27日を入れて
計算)
両入・片落・両落スイッチ…“両入”

操 作	表 示
① [C] [日数(月・日)]	00 日数 0.
② 3 [日数(月・日)] 27 [+]	01 月 日 日数 • 3 27 +
③ 50	02 日数 50.+
④ [=]	02 月 日 日数 = 5 15

注) 何日前の日付を調べる場合は、日付を入力した後[+]の代わりに[-]を押します。

- 入力をまちがえたときは、**[CE]**を押してもう一度入力してください。
- **[C]**を押すまで、日数計算を続けて行うことができます。
- 期日計算では、**[X]**（または**[÷]**）を押してもキー入力を受付けませんので計算はできません。

■ うるう年の日数計算

この電卓では、うるう年（2月29日を日数に含める）の計算はできません。2月29日は日付として入力できません。うるう年の計算をする場合は、次のようにしてください。

種 類		求めかた
1	2月29日をはさんだ期間の計算	計算で求めた日数に1日加えます。
2	2月29日をはさんだ期日	何日後 計算で求めた期日の前日です。
3	の計算	何日前 計算で求めた期日の翌日です。

種 類		求めかた
4	初日が2月29日の日数計算	2月29日の代わりに2月28日を入力します。
5	期日が2月29日の日数計算	2月29日の代わりに3月1日を入力します。

【例】2月25日～3月9日までの日数は？(片落し)

●計算結果：12日

上表の1にあてはまり、1日加え**13日**となります。

【例】2月25日から50日後は？(両端入れ)

●計算結果：4月15日

上表の2にあてはまり、前日の**4月14日**となります。

税計算のしかた

税計算を行うときには、まず税率の設定／確認をします。ご使用前には、必ず税率を確認してください。

■ 税率の設定

税率は、4桁の範囲で設定(または変更)できます。(小数点は1桁と数えません。)

【例】税率を5%に設定するとき

操 作	表 示
① [C] [税率設定] 5	税率 % 5.
② [税率設定]	00 税率 % 5.

注) 設定した税率は、変更するまで記憶されています。ただし、電池の消耗(6ページ参照)などで設定した税率が変化することがあります。

■ 税率の確認

【例】税率が5%のとき

操 作	表 示
① [C] [税率確認]	00 税率 % 5.

■ 税込計算のしかた

計算を始める前に **C** **税率確認** と押して税率を確認し、変化しているときは税率を設定し直してください。

- 税率の変化が電池の消耗によるときは、「電池交換のしかた」に従って電池を交換後、税率を設定し直してください。(7ページ参照)

【例】 税抜表示額1,000円と500円の合計額、税込額、税額を求めるとき(税率：5%)

操 作	表 示
① C 1000 + 500 = (合計額)	02 1'500. =
② 税込 (税込額)	01 税込 1'575.
③ 税込 (税額)	01 税額 75.

- 税額表示後、**税込** を押すたびに税込額と税額を交互に表示します。
- 税込計算では、まず税額をTABスイッチとラウンドスイッチの指定にあわせて求め、次に税込額を求めます。

時間計算のしかた

■ 時間計算できる範囲

- 加減乗除算、定数計算、メモリー計算、GTメモリー計算、パーセント計算ができます。
- -999999時間59分59秒～999999時間59分59秒まで計算できます。
- 時・分・秒に入力できる数値は、次の通りです。
 - 時…6桁まで入力できます。
 - 分・秒 — 0から99まで入力できます。
 - 60以上の数値を入力すると、分は時に、秒は分に繰り上がります。
 - 3桁以上の数値を入力したときは、下2桁が有効になります。
- 時を入力(例：4 時間(時・分・秒))すると“4-00'--.”の表示となりますが、このとき右端に表示されている“--”は秒の入力位置を示しています。分を入力すると表示は“--”から“00”に変わります。
- 時間計算は60進数を10進数に変換し、13桁目を切り捨てて計算を行うため誤差が生じることがあります。
なお、60進数で表示するときは、秒以下を四捨五入して結果を表示します。

■ 計算のしかた

- これ以降の計算例では、スイッチは次のように設定してください。
GT…“•”、TAB…“F”、ラウンド…“5/4”

◆ 加算

【例】 4時間15分20秒
 + 3時間50分18秒

 (計)8時間05分38秒

操 作	表 示
<input type="button" value="C"/> <input type="text" value="時間(時・分・秒)"/>	00 時間 0.
4 <input type="text" value="時間(時・分・秒)"/> 15 <input type="text" value="時間(時・分・秒)"/> 20 <input type="text" value="+"/>	01 • 時間 4-15'20. +
3 <input type="text" value="時間(時・分・秒)"/> 50 <input type="text" value="時間(時・分・秒)"/> 18	02 時間 3-50'18. +
<input type="text" value="="/>	02 = 時間 8-05'38.

◆乗算

【例】時給1,500円で(A)(B)が下記の時間働いたときの合計賃金は？

(A) 20時間30分 (B) 18時間

操 作	表 示
<input type="button" value="C"/> 時間(時・分・秒)	00 時間 0.
20 時間(時・分・秒) 30 <input type="button" value="+"/>	01 時間 • 20-30'00. +
18 時間(時・分・秒) <input type="button" value="X"/>	02 時間 • 38-30'00. ×
1500	03 時間 1'500. ×
<input type="button" value="="/>	03 時間 = 57'750.

- 結果表示後、 を押すたびに60進数と10進数を交互に表示します。
- 入力をまちがえたときは、 を押してもう一度入力してください。
- を押すまで、時間計算を続けて行うことができます。

基本計算のしかた

- 計算を始める前に **[C]** を押して、電卓内部の数値や計算命令をクリアしてください。
- 特に指定していないスイッチの位置は、どこにあってもさしつかえありません。
- 計算例の表示には、説明上必要なシンボルのみを記載します。

計 算 例	ス イ T チ	ス イ A B チ	ス イ / ツ チ	キ ー 操 作	表 示
加減乗除算 12.3-15.2+26.7=23.8	●	2		12.3 [=] 15.2 [+] 26.7 [=]	23.80
3750÷8×4.3=2015.625	●	4	5/4	3750 [÷] 8 [×] 4.3 [=]	2'015.6250
12×45÷7=77.142857...	●	5	5/4	12 [×] 45 [÷] 7 [=]	77.14286
(-1.2)×32÷0.4=-96	●	F		1.2 [+/-] [×] 32 [÷] 0.4 [=] ↑負数を置数するときを押します。	-96.
定数計算 34+57=91 45+57=102	●	0		34 [+] 57 [=] (加数+57が定数となります) 45 [+] 57 [=]	91. 102.
48-23=25 14-23=-9	●	0		48 [=] 23 [=] (減数-23が定数となります) 14 [=] 23 [=]	25. -9.

計 算 例	ス イ T ツ チ	ス イ T ツ チ	ス イ / ツ チ	キ ー 操 作	表 示
$68 \times 25 = 1700$ $68 \times 40 = 2720$	●	0		$68 \times 25 =$ $40 =$ (被乗数68×が 定数となります)	$1'700.$ $2'720.$
$35 \div 14 = 2.5$ $98 \div 14 = 7$	●	F		$35 \div 14 =$ $98 =$ (除数÷14が定 数となります)	2.5 $7.$
パーセント計算 200の10%は?	●	0		$200 \times 10 \%$	$20.$
9は36の何%?	●	0		$9 \div 36 \%$	$25.$
割増・割引計算 200の10%増しは?	●	0		$200 \times 10 \% + =$ (または $200 + 10 \%$)	$220.$
500の20%引きは?	●	0		$500 \times 20 \% - =$ (または $500 - 20 \%$)	$400.$
べき計算 $4^6 = (4^3)^2 = 4096$	●	0		$4 \times = = \times =$	$4'096.$
開平計算 $\sqrt{6} + \sqrt{5} = 4.685557\dots$	●	3	↓	$6 \sqrt{ } + 5 \sqrt{ } =$	4.685
逆数計算 $\frac{1}{5+7} = 0.0833\dots$	●	3	↑	$5 + 7 \div =$	0.084

計 算 例	ス G T イ ツ チ	ス T A B イ ツ チ	ス 5 イ / ツ チ	キ ー 操 作	表 示
メモリー計算 (累計) $25 \times 5 = 125$ $-) 84 \div 3 = 28$ $+) 68 + 17 = 85$ <hr/> (計)182	●	0		↓ 計算の前にメモリーをクリアします。 $\boxed{CM} 25 \boxed{\times} 5 \boxed{M+}$ $84 \boxed{\div} 3 \boxed{M-}$ $68 \boxed{+} 17 \boxed{M+}$ \boxed{RM} ($\boxed{M+}$ 、 $\boxed{M-}$ は $\boxed{=}$ の働きもか ねています)	125. M 28. M 85. M 182. M
(一時記憶) $(52 - 35) \div (14 - 3 \times 2)$ $= 2.125$	●	F		$\boxed{CM} 14 \boxed{M+} 3 \boxed{\times} 2 \boxed{M-}$ $52 \boxed{-} 35 \boxed{\div} \boxed{RM} \boxed{=}$	6. M 2.125 M
(定数記憶) $135 \times (12 + 14) = 3510$ $(12 + 14) \div 5 = 5.2$	●	F		$\boxed{CM} 12 \boxed{+} 14 \boxed{M+}$ $135 \boxed{\times} \boxed{RM} \boxed{=}$ $\boxed{RM} \boxed{\div} 5 \boxed{=}$	26. M 3'510. M 5.2 M
(単利計算) 483,000円を年利率5.5%で179日間貸し 付けました。期日に受け取る元利合計は いくらになるかを求めます。	●	0	↓	$\boxed{CM} 483000 \boxed{M+}$ $\boxed{\times} 5.5 \boxed{\%} \boxed{\times} 179 \boxed{\div}$ $365 \boxed{M+}$ \boxed{RM}	483'000. M 4'755'135. M 13'027. M 496'027. M

計 算 例	ス イ ツ チ	ス イ ツ チ	ス イ ツ チ	キ ー 操 作	表 示
GTメモリー $23.5 + 42.3 = 65.8$ $72.4 - 37.3 + 12 = 47.1$ $+) 27 - 19 - 21.6 = -13.6$ (計)99.3	GT	F		↓ 計算を始める前にグランドトータルメモリーをクリアします。 $GT \boxed{GT} 23.5 \boxed{+} 42.3 \boxed{=}$ $72.4 \boxed{-} 37.3 \boxed{+} 12 \boxed{=}$ $27 \boxed{-} 19 \boxed{-} 21.6 \boxed{=}$ \boxed{GT}	65.8 G 47.1 G -13.6 G 99.3 G
アディングモード 1円45銭 56円76銭 45円00銭 $-7円63銭$ (計)95円58銭	●	A		$145 \quad \boxed{+}$ $5676 \quad \boxed{+}$ $4500 \quad \boxed{+}$ $763 \quad \boxed{+/-} \boxed{=}$	1.45 58.21 103.21 95.58

入力訂正のしかた

誤	正	訂正操作	表示
$2 + \underline{3}$	$2 + \underline{4} = 6$	$2 \boxed{+} 3 \boxed{CE}$ (または $\boxed{\rightarrow}$) $4 \boxed{=}$	6.
$5 \times \underline{2}$	$5 \div \underline{2} = 2.5$	$5 \boxed{\times} \boxed{\div} 2 \boxed{=}$	2.5
$1234\underline{56}$	$1234\underline{78}$	$123456 \boxed{\rightarrow} \boxed{\rightarrow} 78$	123'478.

応用計算

- カウンターについては、行単位のキー操作が終了したときに、**☐**を連続して押した回数、メモリーに累計、加算、メモリーより減算した回数が表示される場合のみ記載します。

見取算

次の見取算を計算しなさい。構成比率(%)は小数第2位未満を四捨五入して求めます。

No	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
1	394	528	80	951	254
2	51	-76	429	-672	753
3	267	-103	61	-483	610
計	① 712	② 349	③ 570	⑤ -204	⑥ 1617
小計	④ 1631	構成比率 ⑩ 53.58		⑦ 1413	構成比率 ⑨ 46.42
合計	⑧ 3044				

スイッチの設定：GT…“GT”、TAB…“2”、ラウンド…“5/4”

キ ー 操 作	表 示
GT GT CM	0.
394 + 51 + 267 =	712.00 G ①
528 - 76 - 103 =	349.00 G ②
80 + 429 + 61 =	570.00 G ③
GT M+	1'631.00 MG ④
GT GT	1'631.00 M
951 - 672 - 483 =	-204.00 MG ⑤
254 + 753 + 610 =	1'617.00 MG ⑥
GT M+	1'413.00 MG ⑦
RM	02 =回数 3'044.00 MG ⑧
GT ÷ RM %	46.42 MG ⑨
1631 %	53.58 MG ⑩

手形割引計算

4月26日満期、額面560,000円の手形を2月6日に割引率9.26%で割引きました。手取り金はいくらになるかを求めます。

スイッチの設定：GT…“●”、TAB…“0”、両入・片落・両落…“両入”

キ ー 操 作	表 示
[C] [日数(月・日)] 2 [日数(月・日)] 6 [~] 4 [日数(月・日)] 26 [=]	2月 6日 80日
[C] [CM] 560000 [M+] 80 [X] [RM] [X] 0.0926 [÷] 365 [M-] [RM]	0. 560'000.M 44'800'000.M 11'365.M 02 [=回数] 548'635.M

●まず割引日数(2月6日～4月26日までの期間)を求めます。

割引日数 80日(両端入れ)

●割引日数を求めたのち、ラウンドスイッチを“↓”に設定します。

手取り金 548,635円

複利計算

4年6ヶ月後に支払う負債640,000円の複利現価はいくらになるかを求めます。
ただし、年利率6%、半年1期の複利とします。

スイッチの設定：GT…“●”、TAB…“F”

【例1】複利現価表を使用する

利率=3% 期数=9期……0.76641673

キ ー 操 作	表 示
640000 \times 0.76641673 \equiv	490'506.7072

複利現価 490,507円(円未満四捨五入)

【例2】複利現価表を使用しない

キ ー 操 作	表 示
640000 \div 1.03 $\equiv \equiv \sim \equiv \equiv$ └ \equiv 9回押す。(9期分)	09 \equiv 回数 490'506.708696

複利現価 490,507円(円未満四捨五入)

減価償却計算

取得価額7,540,000円、残存価額10%、耐用年数22年の固定資産を定率法で減価償却すると、第4期首帳簿価額はいくらになるかを求めます。ただし、決算は年1回とします。

スイッチの設定：GT…“●”、TAB…“F”

キ ー 操 作	表 示
1 <input type="text" value="0.099"/> <input type="text" value="x"/> <input type="text" value="="/> <input type="text" value="="/> <input type="text" value="x"/> 7540000 <input type="text" value="="/>	02 <input type="text" value="回数"/> 0.731432701 5'515'002.56554

第4期首帳簿価額 5,515,003円

(円未満切り上げ)

または

GT…“●”、TAB……“0”、ラウンド…“↓”

キ ー 操 作	表 示
<input type="text" value="CM"/>	0.
7540000 <input type="text" value="M+"/> <input type="text" value="x"/> 0.099	0.099^M
<input type="text" value="M-"/>	746'460.^M
<input type="text" value="RM"/> <input type="text" value="x"/> 0.099 <input type="text" value="M-"/>	672'560.^M
<input type="text" value="RM"/> <input type="text" value="x"/> 0.099 <input type="text" value="M-"/>	605'977.^M
<input type="text" value="RM"/>	04 <input type="text" value="回数"/> 5'515'003.^M

第4期首帳簿価額

エラーについて

次の場合はエラーとなり、“E”シンボルを表示します。このときは **C** でエラーを解除してください。

- ① 負数の平方根を求めたとき 例：5 **+/-** **√**
- ② 除数が0の除算を行ったとき 例：5 **÷** 0 **=**
- ③ 整数部を13桁以上入力したとき
- ④ メモリー(GTメモリーを含む)の数値の整数部が12桁を超えたとき
(エラー解除後、メモリー内部の数値をクリアしたいときは、メモリーは **CM**、GTメモリーは **GT** **GT** と押します。)
- ⑤ 割増・割引計算で求めた計算の結果あるいは途中結果の整数部が12桁を超えたとき
- ⑥ 税計算で求めた計算の結果あるいは途中結果の整数部が12桁を超えたとき
- ⑦ 期日計算の範囲が1年(両入：366日、片落：365日、両落：364日)を超えたとき

⑧ 日数計算モードで誤った日付、日数を入力したとき

例 [C [日数(月・日) 1 [日数(月・日)]
32 [+] → 1月 32日 E
[CE] → 0.

↑ エラー解除

⑨ 時間計算モードで時間として7桁以上入力したとき

例 [C [時間(時・分・秒) 9999999]
[時間(時・分・秒)] → 9'999'999.E
[CE] → 0.

↑ エラー解除

注) ⑧⑨のエラー解除で [C] を押した場合は、もう一度モードを設定し直してください。

⑩計算結果の整数部が13～24桁になったとき：概算

例：TABスイッチを“F”位置にします。

987654320988 $\boxed{\div}$
0.444 $\boxed{\times}$ → **2.22444666889E**
エラー解除 → \boxed{CE} → **2.22444666889**
555 $\boxed{=}$ → **1'234.56790123**

↑ 兆の位

(概数1234兆5679億123万)

● 計算結果の整数部が25桁になった場合、概算はできません。表示：“0.E”

仕様

形名	: EL-G35
表示	: 液晶
計算桁数(概算)	: 12桁(13~24桁)
計算機能	: 加減乗除、定数、パーセント、割増・割引、べき乗、開平、逆数、メモリー計算、税計算、日数計算、時間計算など
電源	: 太陽電池(本体に組み込み) 3.0V $\ddot{=}$ (DC) : リチウム電池(CR2025)1個(本体内蔵)
使用時間	: 約10,000時間(電池のみで連続使用した場合) ・使用環境や使用方法により変動します。
自動節電機能	: 約7分
使用温度	: 0°C~40°C
外形寸法	: 幅110mm×奥行174mm×高さ23mm
質量	: 約185g (電池含む)
付属品	: リチウム電池1個(本体内蔵)、ネームラベル、ソフトケース、取扱説明書※ ※日本語以外の説明書はございません。

補修用性能部品の保有期間

- 当社は電卓の補修用性能部品を、製品の製造打切後5年保有しています。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- 修理にかえ製品と交換させていただく場合は、お買いあげいただいた製品と同一品または同等品との交換になります。(保証期間経過後は、ご希望により有料交換いたします。)

アフターサービス/保証内容について

◆修理を依頼されるときは

仕様および使用上のご注意に従った正常な使用状態で、故障した場合には、修理ご相談窓口にて修理をお申しつけください。無料で修理または同等品と交換させていただきます。

★次の場合は有料修理となります。

- (イ) 使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障・損傷
- (ロ) お買いあげ後に落とされた場合などによる故障・損傷
- (ハ) 過酷な使用による故障・損傷
- (ニ) 火災・地震および風水害その他天災地変など、外部に要因がある故障・損傷
- (ホ) 電池の液もれによる故障・損傷
- (ヘ) 消耗品(リチウム電池)が損耗し取り替えを要する場合

◆修理ご相談窓口

修理は、(電卓)消費者相談係に郵便番号、ご住所、お名前、電話番号、お買いあげ年月日、および販売店名(または、贈答品)、故障内容などを記入のうえ製品を郵送してください。(送料はお客様負担)

〒639-1186 奈良県大和郡山市美濃庄町492

シャープ株式会社 情報通信事業本部

(電卓)消費者相談係 電話 **0570-05-0892**

(当ダイヤルは、全国どこからでも一律料金でご利用いただけます。呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせいたします。)

(注) 携帯電話・PHSからは、下記の番号をご利用ください。

一般電話 **(0743) 55-0892**

◆一般ご相談窓口

この製品についてのご意見、ご質問は、相談室へお申しつけください。

お客様相談センター



0120-303-909

フリーダイヤルがご利用いただけない場合は

東日本相談室 **(043) 351-1822**

西日本相談室 **(06) 6792-1583**

- ・電話番号をよくお確かめのうえおかけください。
- ・電話番号などは変わることがあります。その節はご容赦願います。

- ★ 保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書(保証内容)によって保証書を発行している者(保証責任者)、および、それ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理につきまして、おわかりにならない場合はお買いあげの販売店、(電卓) 消費者相談係または相談室にお問い合わせください。

修理メモ